社説

政府の決斷

今度の政變を概觀すれば詰り政府中に在る薩人の決斷に出でたるものなり世間に薩閥云々の説ある所以なれども我輩に於ては薩とも云はず長とも云はず活潑に文明進歩の政を行ふて國運の進路を全うするの政府ならんには毫も差支なきを認むるものなり政府の擧動を見るに斷然進歩黨の要求を拒絶して從來の提携を絶ち大限醇職と云へば即日に後任者を命じ其他の更迭も從前の因循に似ずして其だ迅速なりしが如き其決斷より推せば今後施政の實際も定めて活潑なるみとならん果して大決斷とあれば甚だ妙なり或は薩人は文明の思想に乏し到底文明の事を望む可らずなど云ふものもあらんなれども今の政府の長老中に眞實文明の教育を受け文明の知識に富めるものは甚だ少なし實際の事實なれども抑も政府が維新以來文明進歩の方針を執り鬼にも角にも今日まで進みたるは社會の大勢自然の成行にして區々たる人力の如何ともす可らざるものにみそなれば今更ら遽に望を絶つ可きに非ず況んや其長老に隨從する後進生の中には自から人物に乏しからざるのみならず政府が大に門を開いて廣く人材を容れんとするときは活潑有爲の人物を得るみと容易なれば實際文明の施設には毫も差支ある可らずとして望む所は俗に云ふテキパキと違て黄ひたき一事のみ從來政府の缺點は優柔不斷、些細の事にも遠慮して因循姑息に流るゝに在り苟もテキパキと遣らんには薩人決して嫌ふ可きに非ず寧ろ其長所を利用して從來の弊習を一洗せしむるの效能あるべし或は又薩人をして思ふ存分に運動せしめたらんには天下の全權その手中に歸して薩人專横の世の中と爲るに至る可しなど揣念するものもあらんなれども眞實無益の心配なれ若しも薩人にして天下を專にするの考あらんには維新當時は最も好機會にして第二の幕府を造る計畫も敢て難きに非ず文明治七八年以後大久保全權の時代に於ても自から志を遂ぐるの望なきに非ざりしかども實際然らずして政府を擧げて文明進歩の方針に向ひ次第に立憲政治の基礎を成したるは畢竟時勢の然らしめたるものにして當時日本の國情は既に藩閥人の專横を許さゞるの實を見る可し況んや今日進歩の社會に於てをや如何に薩人が躍起と爲るも今更ら斯る事實の行はれざるは萬々保證する所なれば專横云々の揣念は全く無益と知る可きのみ左れば政府の當局者は世間に對して毫も憚る所なく今度の政變に付き人物の更迭を颯々と行ひたる其手際通り今後萬般の施政を明らしく斷行して飽くまでも擬まず以て天下の耳目を一新す可し人氣忽ち一變して今の不人望を回復し意外の好結果を見るみと難きに非ず其方針にして文明進歩の實を誤らざらんには我輩は區々たる細事に斟酌せずして大賛成を表す可し薩人は貳有の田舍物にして迚も文明の事を論ずるに足らず或は本來の性質として專横武斷の遺れわりなど未だ事實を見ざるに驚め想像し遽らして漫に云々するが如きは本來、人の性を惡と斷じて小兒視生の當日より惡人と斷定するに異ならず無稽の甚だしきものなり細工は流々仕上げを見る可し我輩は先づ其仕上げの結果を見んと欲するものな

電報

（時事新報特受ロイテル電報）

倫敦十一月十日發

○不思議なる自殺

獨逸國に軍事上の秘密を漏洩したりと云ふの故を以て曩に其妻子と共に流刑に處せられたる佛國陸軍大尉ドレフユーの從弟ドレフユー氏自殺し大に巴里市民の人氣を惹起せり其自殺の目的に至りては不可思議にして知るべからず

○小松宮殿下　神戸十一月十一日午後特發

小松宮殿下には本日午前十一時京都より着神し諏訪山下松方幸次郎氏の別莊に入らせられ午後鹽業大會に御臨場あり明日は博覽會褒賞授與式に明後日は水産大會に御臨席あらせられ來る十四日を以て陸路廣嶋を經て九州へ向はせらるゝ筈なり

○小松宮殿下　京都十一月十一日午前特發

御滯在中なりし小松宮殿下には本日神戸へ向け御出發あらせられたり

○山縣大將　岡山十一月十一日午前特發

山縣大將は昨日旅團演習地へ赴く途次當地を通過す

○山縣大將の一行　廣島十一月十日午後特發

山縣大將の一行本夕當地に着し直に春帆樓に投宿す

○野津大將の一行　神戸十一月十一日午後特發

野津大將は黑木中將、福嶋大佐等と共に本日西京丸にて着神し明日同船にて出發す

○土屋旅團長の歡迎　熊本十一月十一日午後特發

土屋旅團長來着せしに付き當旅團兵及び官衆學校生徒等歡迎せり

○木下歩兵中佐　松本十一月十一日午後特發

木下歩兵中佐豐國會の用件を帶び本日當地に來着す

○野村內務事務官　札幌十一月十一日午前特發

野村內務事務官は本日歸京の途に就く

○水野奈良縣知事　奈良十一月十一日午後特發

水野本縣知事は本日午後六時歸縣せり

○宗像智の結婚　福和十一月十一日午後特發

宗像本縣知事は本日新婦を迎へて、結婚式を行ひ清浦司法大臣は其媒妁の爲め既に當地に來れり

○高野孟矩氏と懇親會　佐賀十一月十一日午後特發

當地の辯護士幷に有志者は本夕高野孟矩氏の一行を招待して懇親會を開く

○大阪築港公債問題

大阪十一月十一日午後特發

大阪築港公債問題に關し昨日市會を開き九十五圓六分の利子にて五十萬圓以上の資本金積立ある銀行者に引受けせしむる事とし來る十三日銀行者を招き相談する筈にて又內海知事は既に或銀行者と內約を結びたる由なるが曩に知事が岡橋氏以下の銀行者を集めたるとき外資輸入の事を談じたるを以て此の一派は其後大に運動して英國より九十圓にて五分利、十年据置にて一時に千七百萬圓を引出す事の約束出來たるに付き今或銀行と內約を結びたるを聞き岡橋氏等は建白書を出さんとて昨今運動中なり

○昨日前場の大阪株式　大阪十一月十一日午前特發

實方刑喰のために前日引直より上放れて寄付きたれども人氣は戻り賣に傾き何となく買物薄の場面なれば諸株頭重の氣味を脫せずして小安く保合へり

○昨日の大阪期米　大阪十一月十一日午後特發

上日和、各地の高直を受け煎米（買）少なからずして氣直り模樣なりしも强氣筋越井は當切を賣り退き後藤義は中先を賣り（利喰ひ）和久伊は中物を賣りて先物に乘り替へ人氣底强けれども直頃なれば何となく行惱みの姿なり

○一昨日の大阪期米　大阪十一月十日午後特發

上日和、東京並に東筋の買物ありしも米澤筋は賣り其上井三より當切を直頃と見て賣り退きたる爲め何となく頭重く相場は小往來なりし又越井は當切を買り井三より利喰賣りあり和久伊も中物を賣りしなどにて糟縮み西六は買ひ須々木庄も中先を節々買へり

○鹽種業者大會　山口十一月十日午後特發

本日當地に於て縣下鹽種業者の大會を開く

○取引所仲買人の豫審免訴　名古屋十一月十一日午後特發

當地の米穀取引所仲買人高橋彦次郎等に係る被告事件は昨日豫審に於て免訴の決定を受けたり

○佐賀の米價　佐賀十一月十一日午前特發

當地の白米は是迄一升十三錢八厘のところ十四錢四厘に騰貴せり

○大日本鹽業大會　神戸十一月十一日午後特發

本日縣會議事堂に於て大日本鹽業大會を開く出席者は四百餘名あり

○愛媛縣會閉會　松山十一月十一日午前特發

臨時縣會は本日を以て閉會せり

○縣會開會　大分十一月十日午後特發

本日より通常縣會を開く

○岐阜縣會の正副議長　岐阜十一月十一日午後特發

臨時縣會に於て正副議長を選擧したるに松野萩二郎氏議長に、今西文吾氏副議長に當選せり

○岐阜縣會開會　岐阜十一月十一日午前特發

本日臨時縣會を開き役員選擧を爲す

○扶桑艦修繕の實況　大阪十一月十日午後特發

大阪商船會社の吉野川丸が昨朝六時頃扶桑艦の遭難地を通過して目擊したる所に據れば同艦右舷の損所は既に假修繕を終り昨日中にポンプにて悉皆水を汲出す筈なりしと又呉鎮守府より同艦の救護に向ひ坐礁したるは第二呉丸なりと

○軍隊歡迎　和歌山十一月十一日午前特發

縣下伊都、那賀兩郡に於て演習を爲したる第四師團の軍隊は本日和歌山市及び海草郡の黑江、日方兩町に來りたるを以て右の市町にては各戸幔幕を張り球燈を掛るし國旗を揭げて歡迎せり、又軍隊は明朝出發歸團の筈なり

○師團兵の檢閲式　仙臺十一月十一日午前特發

本日宮城野練兵場に於て第二師團兵の檢閲式を行ふ

○米艦拔錨　長崎十一月十一日午前特發

米艦アーチャー號は本日香港へ向け拔錨せり

○軍艦の出入　神戸十一月十一日午後特發

大和艦は今朝横須賀へ向け拔錨し秋津洲は昨夜呉より入港せり

○露船寄港　長崎十一月十一日午後特發

露國武勇艦隊汽船の滿期陸兵七百名を載せ本日航の途浦汐より寄港せり

○爆裂藥數地を破壞

今朝未明何者か塡敷地を破壞し損傷を生じたり目下犯罪人を搜索中なり

○上野、加茂間

關西鐵道の上野、加茂間の工事は本日より着手に總ての發着時間を定めたり

○地主對小作人

縣下の稻作は蟲害に於て地主と小作人の間に於て紛擾起れり

○自由黨青年會

昨日當地に於て自由黨青年會の發會式を擧げたり

○英國汽船の一行

英國汽船アルゴ號の一行は昨日當地に着し直に春帆樓に投宿せり

○御容體

陛下には此程より御容體は頗る輕快の方に向はせられ近く出御遊ばさるゝ筈なり

○ブラヲル共和國

ブラヲル共和國大統領より送致せられ宮內省より御見參に入れたり

○米布合衆國

布哇ホノルル、府の新聞は去る十月八日大統領の反對するみとに決し米國大統領へ送致せり吾々建議者は布哇年一月十七日我立憲法法律に依りて有する憲法法律に依りて有せり千八百八十八年政府及び共和政府はたれども曾て之に和政體は國民の力利希望を顧みずして政府のなる上を以て維持したるを奉じて建設したの小數が選出せるに過ぎざるものにして共和政府の關係少なく可し共和政府の非國の輿論に問はずの体裁を無視し强更に共和政府は布